

来年のカメムシ類の被害を抑えるため 収穫後は早めの秋耕を行いましょう

令和 8 年10月 下都賀農業振興事務所

イネカメムシが収穫後の 2 番穂を吸汁



体内に栄養を蓄え、越冬できる個体数が増加



翌年の発生量が増える可能性が高まる！



2 番穂が発生する前に秋耕を行いましょう



写真 1 イネカメムシ

秋耕の効果

- ・ 斑点米カメムシ類やヒメトビウンカの生息場所を減らす。
- ・ 稲わらの腐熟促進、ガス害対策になる。
- ・ 難防除性雑草の塊茎を減らす。

実施のポイント

- ・ 収穫後できるだけ早めに耕起する。
- ・ 15cm以上を目標にゆっくり荒く起こす。



写真 2, 3 稲穂を吸汁するイネカメムシと
すくいとり調査の様子



写真 4 再生稲を加害するイネカメムシ
(令和 7 年10月10日撮影)